

# 更新履歴

## Streamline Win 5.32.1 and Mac 5.32.1.2 versions (2022-11-07)

### 一般機能

- レポートタブのフィルターに、ABC分析を追加
- 在庫タブに在庫金額列を追加
- 需要予測タブのテーブルの出荷数量をチャンネル別に表示
- '無効化' モデルを '現行品目 (はい/いいえ)' 設定に変更
- 'オーダー可能' 機能を、積送在庫を考慮するように機能拡張
- 需要予測タブのテーブルに材料消費行を追加
- ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善
- 不具合修正

## Streamline Server version 2022.10.1 (2022-11-07)

### 一般機能

- ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善
- 不具合修正

## Streamline Mac & Win version 5.31.0 (2022-10-06)

### 一般機能

- 積送中オーダーを超える新規オーダーを中止する最大日数を設定する機能追加
- コンテナとグループダイアログに最大費用パラメータを追加
- ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善
- 不具合修正

## Streamline Server version 2022.9.0 (2022-10-06)

### サーバー/クライアント アプリ

- データ制限にある '財務データを非表示' を '販売データを非表示' と '購入データを非表示' に分割

## Streamline Mac & Win version 5.29.0 (2022-08-02)

### 統合

- Pronto 接続

### 一般機能

- 製造グループ追加
  - 出荷オーダーを、常に需要予測の一部として考慮するように変更
  - 需要タブ内のテーブルの表示/非表示機能追加
  - 削除/置換ルールを入荷オーダーにも適用
  - 計画オーダーダイアログの修正を保存する機能追加
  - 不具合修正
- 
- ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善

## Streamline Server version 2022.7.0 (2022-08-02)

### サーバー/クライアント アプリ

- カタログアクセス処理の改善

## Streamline Mac & Win version 5.28.0 (2022-07-06)

### 一般機能

- グループ最大ロット制約追加
- チャンネル別に削除/置換ルールを作成するオプション追加
- 新規品目コードをチャンネルタブよりインポートする機能追加
- 存季節変動パターンを利用した新規品目予測追加
- 色盲モード追加
- 製造最大ロット制約追加
- 出荷数量を予測の一部にするオプション追加
- リードタイム中の需要を累計する（販売機会損失にしない）機能追加
- 材料利用可能数を製造オーダーの制約にする機能追加
- ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善
- 不具合修正

## Streamline Server version 2021.6.0 (2022-07-06)

### サーバー/クライアント アプリ

- パフォーマンスの改善

## Version 5.27.12 (2021-12-21)

### 一般機能

- グループ化した複数品目に最大ロット制約追加
- 複数データソース接続追加
- Exact Online 接続追加
- トルコ語とフランス語の翻訳追加
- タイムマシン機能改善
- 不具合修正
- 安定性の改善

- ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善

#### サーバー/クライアント アプリ

- パフォーマンスの大幅改善
- サーバー側に削除/置換ルール追加

### Version 5.26.6 (2021-08-19)

#### 一般機能

- コロナ禍やその他の特殊なイベントなどに対応させるため、統計的需要予測にて予測に利用しない販売履歴を期間別に設定できる機能追加
- プロジェクトファイルにインポートした販売数量を減らす機能追加
- ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善
- 不具合修正

#### 統合

- Oracle Netsuite 接続
- データベース接続にて、承認状態、品目分類、モデルタイプ、予測上書きとコメントのエクスポート機能追加
- データベース接続にて、部材調達状態のインポート機能追加
- データベース接続にて、日単位のオーダーサイクルのインポート機能追加

#### サーバー/クライアント アプリ

- 日々のデータインポート/エクスポート作業をスケジュール設定用タブ追加
- サーバー接続の改善

### Version 5.25.2 (2021-06-07)

- Odo 接続の追加
- SAP Business One接続の追加
- 最終製品の原材料の安全在庫を維持するオプションの追加
- 計画オーダーダイアログにて数量0のオーダーの編集機能追加
- データベース接続と取引データスプレッドシート接続の削除/置換ルール
- 置換ルールにルール適用日の機能追加
- 予測係数のトップダウン上書き機能追加
- チャネル別予測のエクスポート機能を在庫レポートタブに追加
- ポルトガル語翻訳対応
- 予測プロパティにて欠品日数を考慮しない機能追加
- 物流センターにて品目充足率に移動オーダーの制約機能追加
- 需要予測結果と売上予測結果をデータベースにエクスポート機能をレポートタブに追加
- 将来の最大ロット数をテーブルとして改善
- 予測設定にて価格弾力性の適用条件追加
- ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善

- 不具合修正

## Version 5.23.5 (2020-12-04)

- サーバーへの接続機能を追加
- 製造品目に最小ロット制約を追加
- SKUbana 接続を追加
- 積送在庫詳細ダイアログの‘出荷’テーブルにオーダー番号を追加
- Excelファイルにエクスポート時にセルの背景色を設定
- 不具合修正
- ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善

## Version 5.22.1 (2020-10-22)

- 価格弾力性検証の追加と価格弾力性の計算改善
- ビデオチュートリアルタブにタグを追加。追加タグを利用し、チュートリアルをフィルタリングができます。
- 修正: マイナスの手持ち在庫数量が期間の欠品日数に加算されていた問題を修正
- タイムマシン機能: ERPシステムをシミュレーションし、推奨購入数量を実施するシミュレーションツールです。PCのCPUの速度に依存しますが、すべてのレポートとタブにサプライチェーンの将来が表示されます。さらに需要計画にホワイトノイズを追加できるため、この機能をサプライチェーンのストレステストにも利用できます。
- 不具合修正
- ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善

## Version 5.21.3 (2020-09-19)

- 在庫 タブと物流センター タブにて在庫補充パラメータの多くを編集可能に変更
- オーダー当たりの最大コンテナ数を制限する、新規制約である‘最大コンテナ数’を追加
- 移動オーダーを対象にコンテナ丸めを追加
- 材料/製品ツリーに製造に利用できる数量と未完了オーダー数量を表示
- 選択した部品表に関連する品目でフィルターを作成できる機能追加
- レポートの‘合計’機能にて‘年開始月’と‘四半期開始月’を設定できる‘期間集計開始’を追加
- 集計期間別に表示できる入荷予定と出荷予定を追加
- 修正: リードタイムが1期間より長い場合に予測在庫レポートが正確ではなかった
- 不具合修正
- ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善

## Version 5.20.0 (2020-08-10)

- UI変更: 従来のタブを置き換えるサイドバーの追加
- ‘高速更新’機能を改善し、販売履歴を1日だけ含む期間も更新
- 予測レポートに利用可能手持ち在庫の予測を使った制約付きオプションを追加(制約付きオプションは、欠品と最大ロットに依存)
- 設定画面のDC関連設定を、DCセクションからDC列へ移動
- ユーザーインターフェースにて在庫パラメータの多くを編集可能に変更
- ダッシュボードに‘年次販売数量’‘タイトル’を追加
- ‘除外履歴を季節性に利用’オプションの削除。今後は常にこのオプションが適用されます。

- 最大ロットパラメータに関連する‘予測欠品’レポート追加
- ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善
- 不具合修正

## Version 5.19.1 (2020-07-20)

- 製造リードタイム追加
- 材料/製品ツリーをExcelへエクスポートする機能追加
- ユーザーが無効化モデルを選択しない場合、無効品目を先行予約品目として扱う仕様変更
- 不具合修正
- ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善

## Version 5.19.0 (2020-07-09)

- 列ヘッダーを利用したインポート列データの自動推定機能追加、テンプレートとなるスプレッドシートの提供
- 次の計算カラムを2つ追加：利用可能手持ち在庫、最大製造数量
- 計画オーダープレビューダイアログに列の表示を追加
- 在庫計画タブに部品調達列を追加
- 各接続の“バッチ”タブを“バッチ有効期限”タブに名称変更
- ファイルメニューに‘接続の編集’コマンドを追加
- 需要予測タブの在庫レポートと在庫パネルにリードタイム分散を追加
- Dynamics NAV 接続にてAPIを利用した購入オーダーのエクスポートと派生製品と部品表の読み込みに対応
- Spire 接続にて、部品表のサポートと移動オーダーの直接エクスポートに対応
- QuickBooks 接続にてOpen Buildsインポートに対応
- 購入先最小ロットをグループ最小ロットに変更。グループは購入先を限定しない区分です。
- 材料/製品ツリー画面に“展開/折りたたみ”ボタンを追加
- 需要予測タブのKPIパネルに年次販売数量と翌年次販売数量を追加
- GMDH Streamlineの無償版の制限緩和。条件は、1000計画品目、または年次売上金額100万ドル、または年次販売数量が1万個以内です。
- ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善
- 不具合修正

## Version 5.18.0 (2020-05-13)

- カスタムコンテナ設定を利用したコンテナサイズの丸めを追加。コンテナグループ別に計画品目の分類方法の設定追加
- Dynamics NAV統合の改善。派生品目と部品表のサポート追加Web API経由Dynamics NAVへの計画オーダーの直接更新を追加
- プロジェクトファイル (.gsl) の圧縮。これにより、過去のバージョンのGMDH Streamlineでは圧縮後のプロジェクトファイルは開けません。
- データが不足している場合の休日イベントを対象にモデル係数計算の改善
- 軽微な不具合修正とユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善

## Version 5.17.0 (2020-05-01)

- MacOS対応GMDH Streamlineリリース(Macを利用してダウンロード)

- 予測欠品/予測過剰在庫情報を需要予測ツリーの各ノードに追加
- '重量/単位' パラメータと '容積/単位' パラメータを集計スプレッドシート接続に追加
- 実行速度とパフォーマンスの改善
- リードタイム分散の処理の不具合修正
- 軽微な不具合修正とユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善

## Version 5.16.1 (2020-04-09)

### ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンス

- はじめに タブと新規プロジェクトダイアログの再設計
- 品目情報フィールドカラムを取引テーブルと取引データ接続から削除
- 過剰在庫/欠品情報をすべてのツリー階層のチャートに表示
- フィルター削除時に警告ダイアログを追加
- 需要予測テーブルのエクスポート時に品目説明を追加
- 部品表利用時と出荷情報利用時に、在庫日数の計算方法を改善
- 新規期間のインポート時に、承認状態を保持する機能を追加
- 販売予実対比レポートに時間間隔の設定機能を追加

### 統合

- DEAR 接続に、集計コントロール(日次、週次、月次)を追加
- 集計スプレッドシート接続にコンテナ負荷情報の追加

## Version 5.15.1 (2020-03-10)

### エンジン

- コンテナの丸めロジックの改善。重量、容積、数量にてコンテナ丸めし、購入先コードを基準とするコンテナに振り分けます。
- 先行予約/無効化モデルのロジック変更。分離され、先行予約モデルと無効化モデルの2モデルになります。
- 分類階層の上書き値のロジック変更。従来は品目-チャンネル階層は動的でしたが、今後は品目-チャンネル階層にて固定として保存されます。
- レポートタブに販売予実対比レポートを追加。

### 統合

- Fishbowl 接続の改善
- Fishbowl 接続に最終製品のオーダのみをエクスポートするオプションを追加
- Cin7 接続に、発送オーダ向け出荷である、行き先不明発送数量のある品目を考慮するオプションを追加
- 取引テーブル内の真偽列として、外れ値マーカーのインポートを追加

## Version 5.14 (2020-01-17)

### エンジン

- エクスポート/インポートのシナリオを利用して、在庫計画レポートの補充品目を対象にDC コードを変更する機能追加
- 製造オーダーのロジックを変更。製品品目に限り製造オーダーをエクスポートできます。中間品目は製造オーダーをエクスポートできません。
- 外れ値のインポート機能追加。データインポートにて、特定の取引を外れ値として区別するため新たな列を用意できます。すべての期間が外れ値になります。

### 統合

- DEAR 接続を新規追加
- Spire 接続に複数データベース 接続を追加

### 不具合修正

- 自動と先行予約 間欠がオーダー推奨値を作成していた不具合修正
- 欠品レポートと在庫計画テーブルにて影響を受ける期間に一貫性がなかった不具合修正
- いくつかのWindowsのバージョンの非互換性の結果クラッシュしていた不具合修正
- インポートにてチャンネルを追加後プロジェクトが再設定されていた不具合修正
- いくつかの条件下にて外れ値がプロジェクトファイルに保存されていなかった不具合修正
- いくつかの条件下にて需要予測タブに上書きを表示していなかった不具合修正
- 品目の承認後、安全在庫を消去していた不具合修正
- TradeGecko 接続にて未完了販売オーダーをインポートしていなかった不具合修正

## Version 5.13 (2019-12-05)

### エンジン

- トップダウン 予測アプローチの改善

### ユーザーインターフェース

- 在庫計画タブにて、購入先最小数量などのパラメータの表示
- プロットにて外れ値の強調表示
- レポートセクションにて(部品表のために)品目タイプ列を追加
- ミニマックス補充方式の購入計画のエクスポートにて成功時のメッセージ追加
- 安全在庫設定式にて3桁の数値を表示
- ライセンス登録画面にていくつかの国際化の問題を修正
- いくつかの場合にツリーの展開を大幅に高速化

### 統合/Fishbowl

- 新規統合と導入

## 統合/TradeGecko

- 在庫金額インポートの実装
- 取引作成日付から取引更新日付を利用するように仕様変更

## Version 5.12 (2019-11-12)

- 在庫計画タブとレポートタブに表示されるテーブルの列の表示・非表示切替機能を追加:
  1. ツールバーの共通メニューになります(設定から削除されました)。
  2. 各列は右クリックメニューから非表示にできます。
  3. エクスポートされたレポートは、カスタマイズされます。
- 言語切り替え後のインターフェース改善(スペイン語の列幅など)
- 外れ値の点(黒い点)をプロットに表示
- クイックフィルター機能追加:
  - 右クリックメニューからセルの値をフィルター条件に設定できます。
  - 列ヘッダからフィルターの名称を自動設定します。
  - セルの値を、追加のフィルター条件として既存のフィルターに追加できます。
- Fishbowl統合とFishbowl 接続の追加
- 他の品目モデル(モデルの継承)を適用後に、モデル水準を自動調整する機能追加
- 季節変動単価予測機能の削除
- 在庫レポートセクションにABC分析の追加
- パフォーマンス改善 - 品目ツリーナビゲーションの高速化
- オーダー総重量とオーダー総容積の数値を在庫計画タブと計画オーダープレビューダイアログに表示
- 数個の不具合修正

## Version 5.10 (2019-09-26)

- ODBC 統合とMySQL 統合の改善
- 数個の不具合修正

## Version 5.9 (2019-09-18)

### エンジン

- 期間別欠品を細分化できる予測欠品レポートの追加。
- 安全在庫負債にて、'陳列数量'を'計画オーダー'に渡せなかった不具合修正
- 部品表在庫 計算のわずかな速度向上。
- レポートタブにフィルター追加

### レポート

- レポートタブに次の列追加: モデル品質、モデルタイプ

## 在庫計算説明ダイアログ



- 在庫計算説明に保存期限の説明追加
- 在庫計算説明行の在庫 + 積送在庫にて、エクスクラメーション・マークを土記号に変更、ツールチップの追加

## 内部倉庫最適化

- 設定 > プロジェクトに内部倉庫移動のデフォルトリードタイム コントロールを追加
- 在庫計画タブに'移動可能在庫'列を追加
- 欠品の削減は、購入の削減よりも、優先度を高くする仕様変更。

## その他

- 多数の機能と翻訳にて表記を変更
- 数個の不具合修正

## Version 5.8 (2019-08-30)

### エンジン/UX

- 在庫レポート設定変更後、またはプロジェクトの再ロード後の購入推奨値の再計算高速化
- データベース 接続の品目情報セクションにて1SKU当たりの販売価格のインポート機能追加
- 修正: 部品表の利用にて、購入と製造の切り替えで、オーダータイプが変更されなかった不具合
- 修正: 選択ノードと非表示ノードに関する検索の不具合
- 修正: 過去の期間から開始した場合の在庫計算説明の不具合
- 修正: '将来の需要'を利用した安全在庫計算が、リードタイム + オーダーサイクルを合計した需要をスキップしなかった不具合
- 内部倉庫最適化の'供給元'列からの供給元の地点へのリンクの有効化
- レポートと需要予測タブの販売価格集計を統合
- 承認機能により承認済みとなった品目の予測設定の変更禁止

### 統合

- データベース 接続と取引データ接続にサービス率のインポート機能追加
- Dynamics NAV 接続に企業名フィールドのインポート機能追加

## Version 5.7 (2019-08-16)

### 新規機能

- レポートに承認状態列を追加

### \* 内部倉庫最適化モジュール

- '内部倉庫最適化'と呼ばれるワークスペースに新規タブ追加
- '内部倉庫最適化'タブにて内部倉庫移動を自動で表示
- データ 接続ダイアログに次の新規列追加: 移動区域 (品目情報セクション内)、供給元、オーダータイプ

### エンジン

- 修正: 需要予測タブにて現在の期間の平均販売単価を上書きできなかった不具合

- 在庫計画レポートの処理高速化、プロジェクトの読み込み高速化、巨大なプロジェクトの場合の機能をよりスムーズにしました。
- 修正: プロジェクトが再度開かれる前に、ダッシュボードがすべてのプロジェクトの変更を反映されなかった不具合
- 修正: QuickBooks統合の不具合
- 修正: 設定を変更時、再計算が必要な場合でも、自動需要予測再計算が自動で再計算されない不具合

### ユーザーインターフェース

- 列幅に関する不具合修正
- 計画オーダープレビューダイアログに到着日列を追加

### ユーザーエクスペリエンス

- ツリーの最下層にてすべてクリアを追加
- 修正: 在庫レポートのパラメータインポート機能に関する不具合修正。上書きのサービス率がExcelファイルに保存されている実際のサービス率の0.1倍でロードされていました。

## Version 5.6 (2019-08-02)

- 計画オーダーに製造オーダーを含めるオプションを追加
- 需要予測タブに設定ボタンを追加
- ダッシュボードに関するいくつかの不具合を修正。また、よりわかりやすく、首尾一貫した比較ができるようにダッシュボードを改善
- 自動化に関するいくつかの不具合を修正。自動再計算がよりスムーズになりました。
- データベース 接続のチップを含む、インターフェース内の複数のセクションにて、命名を改善。
- 承認機能の不具合修正
- 実行速度向上の多数の機能改善。再計算や上書きにて遅延を多数改善し、生産性を向上しました。
- 上記以外のユーザーエクスペリエンス/ユーザーインターフェースの改善多数
- 他のユーザーインターフェースと機能に関する不具合を多数修正

## Version 5.5 (2019-07-19)

- 在庫を持たない倉庫間の移動の機能追加
- 最適な在庫計画により期待できる費用削減を表示するダッシュボードの追加
- ユーザーインターフェースの軽微な改善
- 不具合修正

## Version 5.4 (2019-06-20)

### エンジン

- 1つ以上の期間が追加された場合、新規にインポートされた期間に対して、上書き値を推定し適用します。
- すべてのオーダースケジュールを更新できるように、次回オーダー日付列の現在の日付を修正
- データベース 接続にて、既存の品目のモデルを新規品目に適用できるように機能追加

## ユーザーインターフェース

- 新しいショートカットキー追加
- クラッシュする問題を修正
- コメントにてフィルターできるように機能追加
- 予測減価償却レポート追加
- 承認ボタンにて、モデルの上書き防止機能追加
- モデル係数変更後にチャートが更新されない不具合を修正
- 予測期間が伸びた場合に、在庫水準と購入計画が計算されない不具合を修正
- オーダー可能の編集状態を表すアイコンをツリーに追加
- 複数ダッシュボードの改善とインターフェースの更新
- チャート上に表示される安全在庫を右に移動させ、‘オーダー時の安全在庫’を表示するように変更。従来は‘到着時の安全在庫’を表示。
- チャートの販売促進の表示を変更 appearance on the chart
- 需要予測がデフォルトで予測セクションを表示するように仕様変更。

## QuickBooks統合

- 購入オーダーの到着日付にカスタマイズ用フィールド追加
- 積送在庫詳細にバックオーダー日付を表示
- QuickBooksから無効化された品目をインポート

## その他

- いくつかのコマンドラインに関する軽微な不具合修正
- コマンドライン改善 - 異なる名前でプロジェクトを保存する機能追加

## Version 5.3 (2019-06-07)

- スペイン語翻訳対応
- ポーランド語翻訳対応
- ユーザーインターフェースの改善と計画立案エンジン改善
- 不具合修正

## Version 5.2 (2019-05-24)

- 在庫バッチ期限の機能追加。予測減価償却レポート追加と予測在庫水準の改善
- Shopify 接続の追加
- Dynamics NAV 接続と Dynamics GP 接続の改善
- ユーザーインターフェースの改善
- 不具合修正

## Version 5.1 (2019-05-02)

- 販売促進計画機能追加
- 不具合修正

## Version 5.0 (2019-04-05)

- チャネル-品目-地点別に予測できる3次元モデルの機能追加。従来は、品目-地点別の予測です。
- 必要時の自動再予測機能追加（予測ボタンの廃止）
- フィルター適用済みレポートを別タブにて表示する機能追加
- 在庫KPIのダッシュボード追加
- 中間時点の期間コントロールは自動的に管理機能追加とコントロールをUIから削除
- ユーザーインターフェースの改善

## Version 4.9.4 (2019-02-22)

- Fixed: Spire connector error.
- Reworked QB connector.
- Embedded customer survey. It shows up after one month of application use.
- If there are no sales of an item during the last 12 months, we detect the item as Inactive.
- 修正: Spire 接続エラー
- QuickBooks 接続の再作成
- 顧客アンケート機能追加。アプリケーションの利用1か月後に表示されます
- 最近12か月間で販売がなかった品目は、廃番として検知

## Version 4.9.3 (2019-01-25)

- 修正: 購入オーダーのエクスポートに関する問題

## Version 4.9.2 (2019-01-23)

- 修正: ERPシステムにエクスポートされたオーダーが、即座に積送在庫に表示されない問題

## Version 4.9.1 (2019-01-17)

- コマンドラインからGMDH Streamlineを実行できる機能追加
- エクスポートするExcelファイル名を重複しないようにしよう変更。ファイル名にエクスポート日時を追加
- 在庫レポート内の実際の販売履歴にて、中間時点の期間の販売データも出力
- データ更新ボタンのドロップダウンメニューにすべて再インポートオプションを追加
- データベース 接続の定期のエクスポートタブにて供給物流センターをエクスポートできる機能追加
- GUIの多少の変更
- 不具合修正

---

[次へ: Changelog-2018](#)

[PDFダウンロード](#)

From:  
<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/> - **GMDH Streamline Docs**

Permanent link:  
<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:changelog>

Last update: **2022/11/10 00:30**

